

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103028
大学名	駒澤大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京都
大学全体の総収容定員数	13,584名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	仏教学部（禅学科、仏教学科）、文学部（国文学科、英米文学科、地理学科（地域文化研究専攻、地域環境研究専攻）、歴史学科（日本史学専攻、外国史学専攻、考古学専攻）、社会学科（社会学専攻、社会福祉学専攻）、心理学科）、経済学部（経済学科、商学科、現代応用経済学科）、法学部（法律学科（昼間主コース、夜間主コース）、政治学科）、経営学部（経営学科、市場戦略学科）、医療健康科学部（診療放射線技術科学科）、グローバル・メディア・スタディーズ学部（グローバル・メディア学科）		

2. 事業概要

<p>駒澤大学は、2006年にグローバル・メディア・スタディーズ学部を設置して以来、学際学部として教育を行ってきたが、グローバル化の拡大と人工知能の普及に対応したデジタル人材を養成するため、入学定員50名（収容定員200名）からなるメディア工学科（仮称）を、令和8（2026）年度にグローバル・メディア・スタディーズ学部内に開設予定である。本学部は、現在グローバル・メディア学科単一の学部であり、人文・社会科学と情報学の幅広い分野で教育を行っているが、メディア工学科（仮称）の新設により、メディア工学および情報工学分野での教育を強化する。その特色としては、従来のハードウェア・ソフトウェアを前提とした従来の情報工学科を発展させ、現代のクラウド・コンピューティング及び人工知能の普及を前提とした情報学およびメディア学を体系的にカリキュラム編成し、学際の中のメディア・情報工学専門教育を追求する。また地域や実務家と協力し実践的教育を行う。</p>
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度
認可申請・届出予定	令和6年度
改組内容	既存学部における学科の新設
設置等組織名	グローバル・メディア・スタディーズ学部メディア工学科（仮称）
設置等組織の学位分野	工学関係
当該学部等の所在地	東京都世田谷区駒沢1-23-1
入学定員	50名
収容定員	200名
入学定員の増加数	50名
他学部等の入学定員の減少数	50名

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。



< 基本情報 >

改組予定年度：令和8年度

改組内容：既存学部における学科の新設

設置等組織名：グローバル・メディア・スタディーズ学部メディア工学科（仮称）

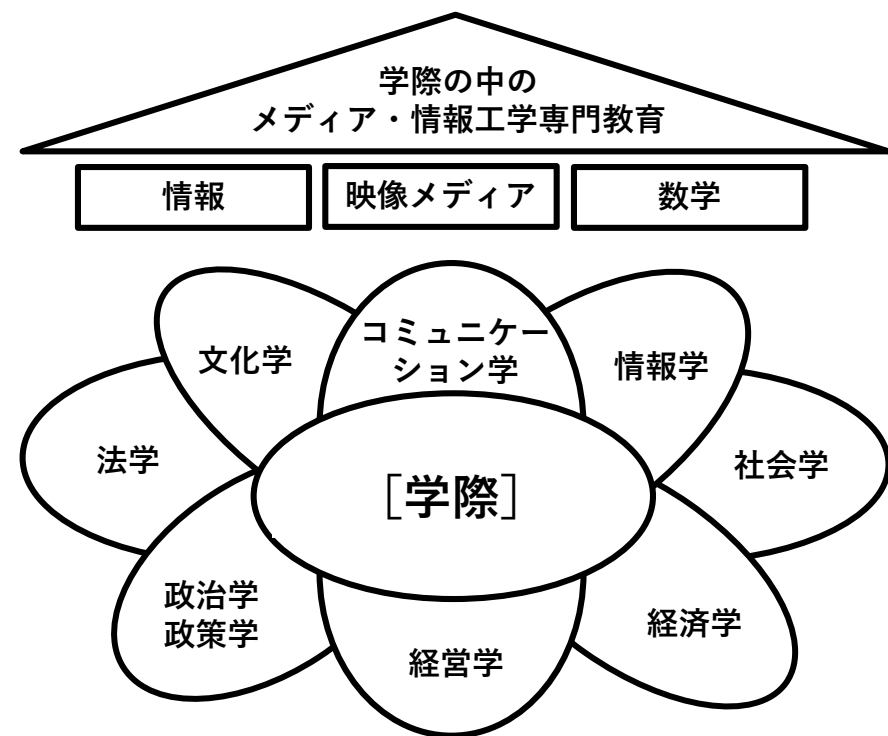
入学定員：【R8新設】50名

所在地：東京都世田谷区

新設学科のコンセプト

従来のハードウェア・ソフトウェアを前提とした従来の情報工学科を発展させ、現代のクラウド・コンピューティング及び人工知能の普及を前提とした情報学及びメディア学を体系的にカリキュラム編成し、学際の中のメディア・情報工学専門教育を追求する。

改組後の教育内容



新設学科の特徴

- 既存学部において、毎年度、情報を専門としたい学生が相当数おり、これまで情報学分野を学んだ学生を多数輩出している。（申請要件②）
- 教育カリキュラムについては、すでに既存学部において、情報系科目を多数開講し、情報教育を行っている。新学科では、「メディア工学」及び「情報工学」に特化した体系的なカリキュラムを編成し、結果としてメディア工学の学士を目的とした教育課程とする予定である。（申請要件③）
- メディア工学及び情報工学分野は、特定成長分野であり、成長や発展のスピードが早いため、学問の基礎として不変の部分はカリキュラムの基幹として科目を設定し、成長や発展する部分は柔軟に授業内容が変えられる構成にすることを基本とする予定である。（申請要件④）
- 地域及び企業と連携し実務家教員による授業科目を配置する予定である。（申請要件⑤）
- 本学及び既存学部においてすでに複数の企業等との連携を行っている。（申請要件⑦）
- 2021年度に、本学に共同研究、受託研究の受付窓口である社会連携センターを新設した。新学科開設後、共同研究、受託研究の活性化により、研究費、寄附金（教育活動）等の外部資金獲得額の増加を見込む。（申請要件⑪）
- 世田谷区並びに区内の大学及び産業界の3者で構成される「世田谷プラットフォーム」等、外部機関との連携をすでに行っている。（申請要件⑫）